

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第6週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第6週分 2月5日～2月11日（2月14日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：693人、定点医療機関当たり14.44人、新規患者推計値※：3,271人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

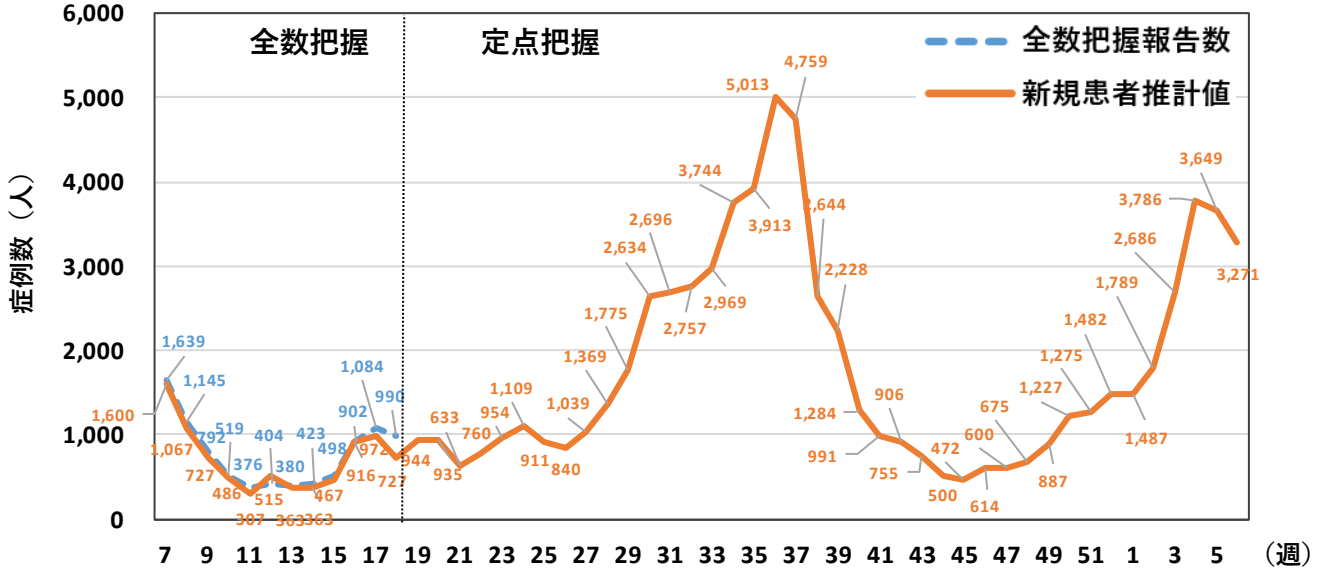


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

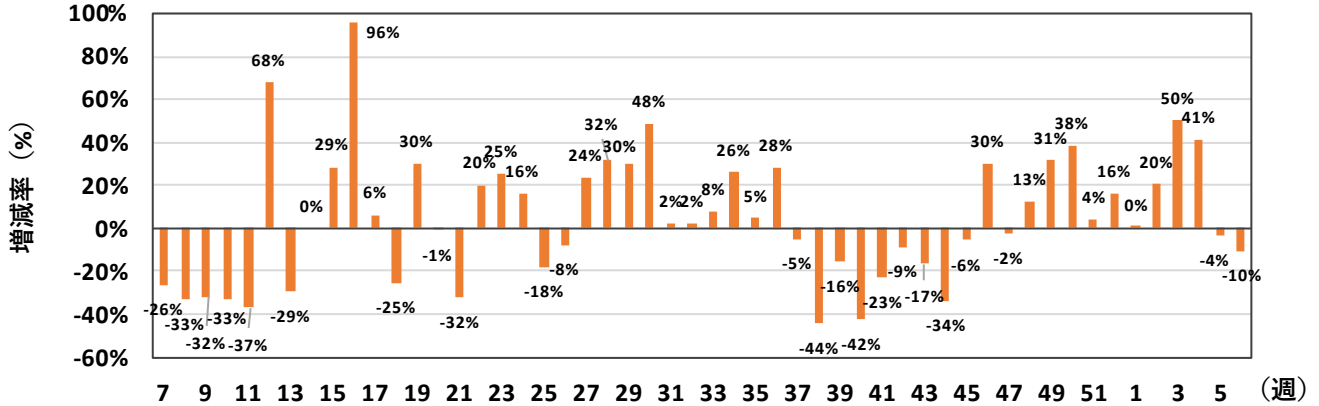


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第6週）

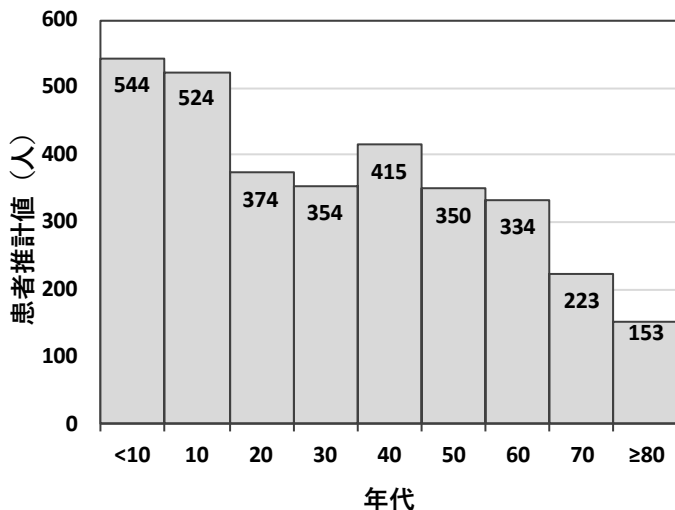


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第6週）

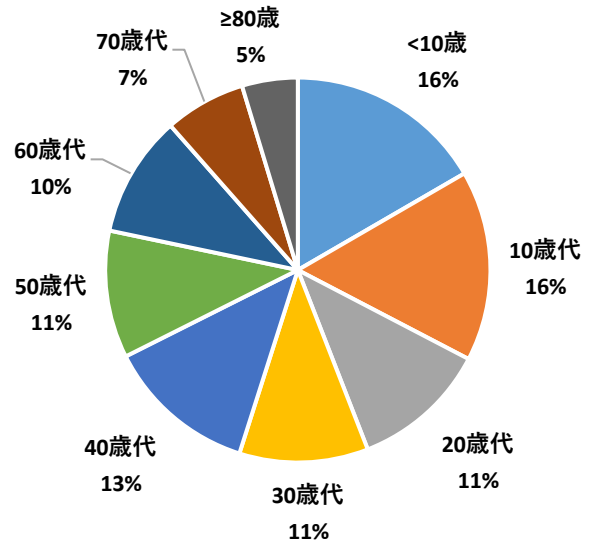


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

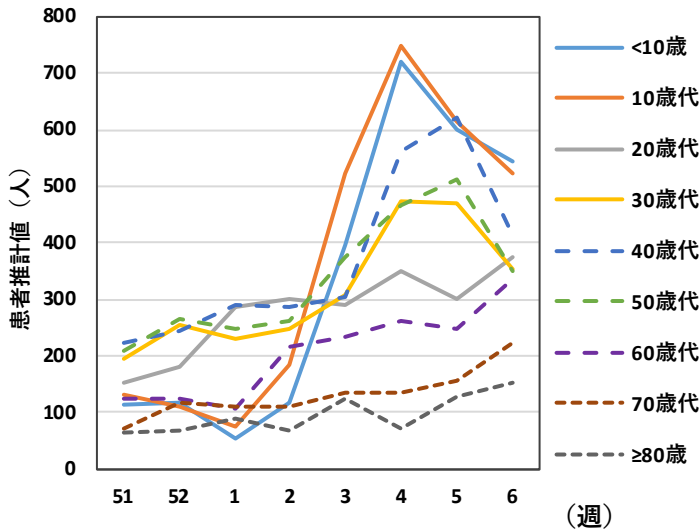
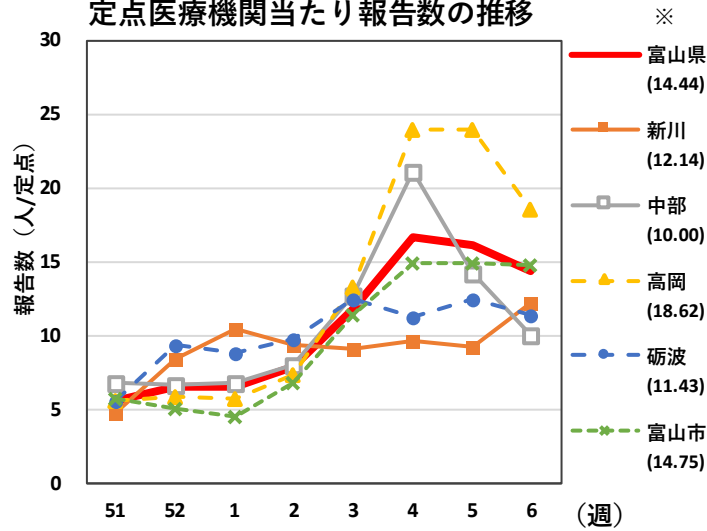
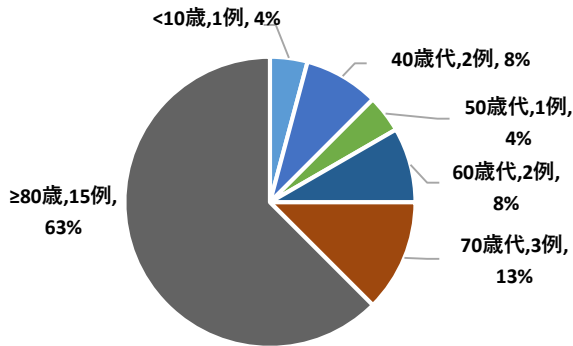


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第6週、24例）



第6週（2/5～2/11）時点での所見と評価

- 第6週の定点医療機関当たり報告数は14.44人、新規患者推計値は3,271人であった。前週推計値（第5週、3,649人）から10%減少した（図1、2）。
- 第6週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。10歳未満、10歳代が16%を占め、次いで40歳代（13%）の順であった。60歳以上の割合は22%で先週（15%）から増加した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。10歳未満と10歳代は減少が継続し、30歳代、40歳代、50歳代も減少に転じた。一方、20歳代と60歳以上では増加が続いている。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で14.44人/定点であり、先週（16.10）から減少した。中部管内、高岡管内で先週から減少した一方、新川管内では増加した。砺波、富山市管内では、ほぼ横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第6週に24例の入院報告があり、先週（30例）から減少した。年代分布では、70歳代が3例、80歳以上が15例で、70歳以上が76%を占めた。（図7、8）。
- COVID-19の定点当たり報告数は、今週は前週と比べてやや減少したが、2023年45週以降、継続的に増加していることから、今後の感染動向を注視する必要がある。

図8.COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

